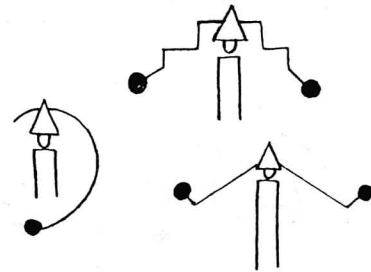


例2 片方のおもりの位置を変えてよく立つやじろべえを作る。

例3 うでの長さや形をいろいろ変えたやじろべえを作る。
 ※ それぞれやじろべえができたなら、立たせる、回す、ゆらすなどの活動をさせる。



例4 片うでやじろべえを作り、立つように工夫する。

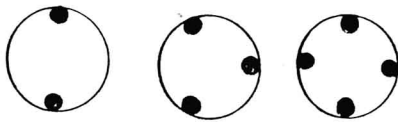
丸い輪を使って、動くおもちゃを作り、おもりの重さや数、付ける位置によって動きが違うことに気付かせる。

例1 ゆらす（ゆりかご型）

例2 起きあがらせる。（おきあがり型）



例3 遠くへ転がす。



※ 平らなところや板の坂道などを利用するとよい。

※ おもりは粘土がよい。

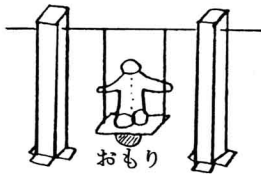
※ 輪を作る材料としては、アルミ板、工作用紙など身近な物から、セロテープの芯、空かん、しょう油やシャンプーのびん（プラスチック）、ポテトチップス箱、キャンデーの空かん

※ 粘土の大きさ、数、位置を変えて試行錯誤したり工夫したりさせる。

おもりで動くおもちゃを工夫して作り、みんなで楽しく遊べるようにする。

例1 ふりこ型

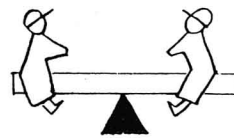
例2 シーソー型



ぶらんこ



くりくり目玉



ふりこ人形